

談話室 たんわ室

ずっと前から思う事が

歯科医師は医師ではないのか? 読んで字の如く歯だけを診る医師なのか、色々複雑な思いが頭を走る。医師は歯を抜いても、歯の型を採っても医療法違反にならないが、歯科医師は歯と口の周囲以外の部分を触ると違反になると医療法で定められている。

言い換えれば、医師は歯科医師を兼ねる事も出来るが、歯科医師は医師の免許がない限り他の領域を診る事が出来ない。医師と歯科医師は明らかに差を付けられ、歯科医師は医師を超える事は出来ない。

大学の授業年数も医学部と同じ6年である。学校では全身に対するしっかりとした勉強も受けている。医師は歯の事をどれくらい存じ込めるのか? すべての健康はよく噛める事から始まるという言葉に同意する。口腔機能の大切さを軽く見られる傾向が見受けられる。

大学を卒業後、歯科医師の免許を取得すればその役割を果たす道は色々ある。学校に残り指導者を目指すか、研究者になるか、公共の病院に勤務医として働くか、公務員の道を選ぶか。色々選択肢はあるが、大多数は一般開業医として社会に進出すると理解している。

しかし、歯科医師は診療の領域が医療法で限られており、それ以上のことは出来ない。仕事の内容は異なる。進んでその科を

選ぶ医師の絶対数が足りないから結果的に医師不足を招いている原因にもなっていると思う。そのため医師の定員を増やして不足に対処しようとしている。中長期的にみると医師過剰になるのは明白である。

反面、歯科医師は2倍以上にもなっている。定はここ数年連続マイナスイ改革で、歯科医療は風前のともしびりのように廃業せざるを得ない開業医も増えてきている。国の歯科医療に対する考え方が手に取るように分かると思う。歯科医療が軽視されているお陰である。

医師との所得格差は2倍以上にもなっている。9月中旬に韓国で医療視察を行った。隣の韓国では歯科医師の人数が女性の割合1位、男性の場合2位と聞いた。歯科医師の所得は医師の所得を超えている。羨ましい事だ。反面、韓国の歯科医師はあらゆる方面で歯科医師会を中心に対国民奉仕と啓蒙活動に携わることが出来るようになっている。

そのような事をしていないのか。韓国でも一つ歯科医師が尊敬されるのは質の高い教育制度にもあると思う。2005年から一般理工系の大学卒業者のみ歯科大学に進学出来る制度に変わった。つまり2年14年から4年14年制度に変わったのである。そのために優秀な学生が集まるようになり歯科医師に対する認識度が180度変わったと理解出来る。

医療に携わる医師と歯科医師の立場に差を付けない医療法の抜本改定と教育制度を根本的に変えて行く時期に来ているのではないか。

歯科医師という職業に対する存在価値とプライドをもって安心して医療に携わることが出来るように。

歯科医師と医師

三井 泰正(西淀川区)

最近、盛んに医師が不足している騒がれ大学の定員を増やす動きが見られるが、果たして足りないだろうか?

小児科とか産婦人科のように救急患者が多く、医師としての仕事が多く、診療報酬の評価も低いため、進んでその科を

「無農業」「オーガニック」ともはややられて、そのこの年数が経つ。「そんなふうにはどこのとかな?」と当時は疑っていたが、いざ自分が体感(食感?)すると、その違いに納得。「その通り。ぜんぜん違つ」と思ふ。ネットで調べて「お取り寄せ」等もしている。自分にもビックリする。

自分が感じた違いは、子どもにもあるようだ。4歳になる息子は、野菜をよく食べるが、やはり微妙な違いが分かるようで、おじいちゃんにも

「無農業」「オーガニック」ともはややられて、そのこの年数が経つ。「そんなふうにはどこのとかな?」と当時は疑っていたが、いざ自分が体感(食感?)すると、その違いに納得。「その通り。ぜんぜん違つ」と思ふ。ネットで調べて「お取り寄せ」等もしている。自分にもビックリする。

自分が感じた違いは、子どもにもあるようだ。4歳になる息子は、野菜をよく食べるが、やはり微妙な違いが分かるようで、おじいちゃんにも



リレーエッセイ 250

カボチャとナス

小泉 訓範(住吉区)



絵 藤田 進(河内長野市)

もともと食べ物に好き嫌いはない自分だが、カボチャとナスが小さい頃からあまり得意ではなかった。しかし、結婚して野菜作りをしている義理

の祖父・祖母から野菜や

お米をもらうようになったり、すっかり食が変わったというか、認識が変わっていった。

今まで好まなかったカボチャとナス。けれど、今では進んで箸をのぼす自分に驚くばかり。近所

のスーパーなどで売っている野菜がおいしくない、とは思わなかったが、やはり、おじいちゃんやおばあちゃん手作りの野菜の方がおいしい。

今では「スーパーの野菜はちょっとなあ」と思うようになった。おじいちゃんにわけてもらったり、わざわざ農協にまで買いに行くようになったり。外出先で食事をした時なんか、料理の味付けはおいしくないけど、いつもの野菜ならもったいないな、と、もったいないな、と、まるで食通のような言葉が出て

しまつた。無農業「オーガニック」ともはややられて、そのこの年数が経つ。「そんなふうにはどこのとかな?」と当時は疑っていたが、いざ自分が体感(食感?)すると、その違いに納得。「その通り。ぜんぜん違つ」と思ふ。ネットで調べて「お取り寄せ」等もしている。自分にもビックリする。

自分が感じた違いは、子どもにもあるようだ。4歳になる息子は、野菜をよく食べるが、やはり微妙な違いが分かるようで、おじいちゃんにも

自分が感じた違いは、子どもにもあるようだ。4歳になる息子は、野菜をよく食べるが、やはり微妙な違いが分かるようで、おじいちゃんにも

自分が感じた違いは、子どもにもあるようだ。4歳になる息子は、野菜をよく食べるが、やはり微妙な違いが分かるようで、おじいちゃんにも

自分が感じた違いは、子どもにもあるようだ。4歳になる息子は、野菜をよく食べるが、やはり微妙な違いが分かるようで、おじいちゃんにも

講習会へ参加ご希望の方は、必ず事前に協会までお申し込み下さい。

協会行事案内

お申し込みは 電話 06-6568-7731 ファクス 06-6568-0564

第2回「男の料理教室」

日程 2010年1月23日(土) 午後5時~8時
会場 クレオ大阪中央、クワフト調理室(地下鉄谷町線「四天王寺前」駅から徒歩3分)
定員 20人(先着順・要申込) 参加費 2千円
講師 富永千嘉氏
持ち物 エプロン・筆記用具
献立 大根とつくねの煮物、炒めなます、けんちん汁、さつま茶巾
※女性の参加も大歓迎です

パソコン記帳講座

「弥生会計を使った決算準備」
日時 2010年1月23日(土) 午後2時30分~5時30分
会場 京橋ケースメソッド・弥生カレッジCMC
講師 柄溝宗生(協会の顧問税理士)
定員 25人
会費 会員1人につき5千円

生涯研修・新春特別講演

「メタボリックシンドロームの合併症としての歯周病」
日時 2010年1月24日(日) 午前10時~午後1時
会場 M&Dホール(保険医会館東隣り)
定員 100人
講師 西村英紀氏(広島大学大学院歯薬学総合研究科健康増進歯学教授)
会費 会員無料、未入会者1万円

新規開業医講習会「新規個別指導対策」

日時 2010年1月31日(日) 午後2時~午後4時
会場 保険医会館 定員 50人
講師 社保研究部講師団
会費 会員無料、未入会者1万円
※「カルテ記載を中心とした指導テキスト」をご持参ください

2月度生涯研修

「歯科治療と患者心理、催眠誘導法」
日時 2010年2月21日(日) 午前10時~午後1時
会場 M&Dホール(保険医会館東隣り)
定員 100人
講師 齋藤稔正氏(立命館大学文学部教育・社会学系心理学、実験系心理学教授)
会費 会員3千円、未入会者1万円

未入会者とは、会員院所に勤める勤務医未入会者です。
※協会行事などを本紙で報道するため、講習会などの写真で個人が特定されることがありますが、趣旨をご理解の上、ご了承ください。また、講習会でのビデオ撮影や録音はお断りします。
※M&Dホールとは、医科・歯科両協会が協同組合会館5Fに共同で建てたホールの名です。